

願書記入上の留意点

1 一般的注意事項

- (1) 願書の記載に事実と反する事項があった場合は、登録されても、採用されない場合がありますので、記入に当たっては十分注意してください。
- (2) 願書の記入は、全て黒インク又は黒ボールペンを用いて楷書で丁寧に書いてください。
- (3) 「受検番号」の欄は記入しないでください。

2 「受検区分」欄及び「選考区分」欄について

受検区分・選考区分は希望するものに○印を記入してください。
願書提出後の変更は認められませんので、十分注意してください。

3 「配慮希望事項（障がい・その他）」欄について

選考区分にかかわらず、受検の際に特別な配慮を必要とする場合は、該当欄に○印を記入するか、所定欄に希望事項を具体的に記入してください。

4 「写真貼付」欄について

3か月以内に撮影した写真（上半身正面・無帽）（縦4cm×横3cm）を貼付することとし、写真の裏面に氏名を記入してください。

なお、後日送付する第1次検査受検票にも、願書に貼付した写真と同じものを貼付することとなるので、注意してください（第1次検査合格者に後日送付する第2次検査受検票も同様）。

5 「上記以外の家族等連絡先」欄について

採用事務の際に連絡が取れなくなるケースが見受けられますので、確実に連絡が取れる連絡先を記入してください。

現住所と同様である場合も「同上」と記入するなど、必ず記入してください。

6 「資格及び免許」欄について

次のような資格・免許を有している場合は、記入してください。

なお、下記以外にも、職務に生かすことのできるものがあれば記入してください。

職種	実習助手又は寄宿舎指導員の職務に活用できるもの
実習助手（農業）	教育職員免許（農業）、毒物劇物取扱責任者、危険物取扱者、造園施工管理技士、造園技能士、大型特殊自動車運転免許 など
実習助手（工業）	教育職員免許（工業）、電気工事士、電気主任技術者、自動車整備士、土木施工管理技士、建築施工管理技士、管工事施工管理技士、電気工事施工管理技士、技能検定（機械加工、電気機器組立、機械保全、建築大工など）、基本情報技術者試験、ITパスポート試験、工事担任者、陸上特殊無線技士、アマチュア無線技士、ボイラー技士、測量士補、危険物取扱者、消防設備士、毒物劇物取扱責任者 など
寄宿舎指導員	介護福祉士、社会福祉士 など

7 「身体状況」欄について

全項目必ず記入することとし、該当がない項目は、必ず「無」を○印で囲んでください。

8 「学歴」欄について

中学校卒業以降の学歴を順に全て記入してください。

なお、予備校、大学の研究生・聴講生・科目履修生等の期間は、「職歴」欄に記入してください。

9 「職歴」欄について

高等学校卒業後から願書提出日現在までの職歴及び無職の期間について、空白期間がないように記入し、現在の職で終了期間が決まっている場合は、その終了予定日を記入してください。

特に受検区分の職種に関連した勤務経験がある場合は、「勤務先」及び「職務の内容」を具体的に記入してください。

また、職歴がある場合は、正規、期限付、非常勤、アルバイト等の区分を必ず記入するとともに、退職した方は、退職理由も必ず記入してください。

記入欄が不足する場合は2段書きとし、なお不足する場合は、別紙を添付してください。

10 「休職等」「刑罰・懲戒処分歴」欄について

該当がない場合は、必ず「無」を○印で囲んでください。

11 「署名」「署名年月日」欄について

願書の記入内容、事実と反する事項がないこと、記入漏れ等を確認の上、忘れずに自筆で記入してください。